

1. 準備

（製品名・機種型番等は、現時点でバイオバンクが採用しているものを提示している）

- ベノジェクト® II 真空採血管（EDTA-2Na）7 mL（TERUMO）
- 1.0 mL 2Dバーコード付チューブExternalキャップ（FCR & Bio または ワケンビーテック）
- 1.0 mL 2Dバーコード付チューブExternalキャップ対応フリーズボックス196穴（14×14）（FCR & Bio または ワケンビーテック）



ベノジェクト® II 真空採血管
（EDTA-2Na）7 mL
（TERUMO）



1.0 mL 2Dバーコード付チューブ
Externalキャップ
（FCR & Bio）または（ワケンビーテック）

2. 採血と分離

- 2-1. 準備した採血管に採血。
- 2-2. 2,330~2,360×g、5分間遠心分離。
- 2-3. 冷蔵庫に一時保存（保存時間は個別検体情報として記録）。

※バイオバンクでは採血を担当しておりません。

※遠心分離前もしくは、遠心分離後、臨床検査部で一時冷蔵保存せずにバイオバンクに移送する場合もある。遠心分離前のものについては、バイオバンクにて遠心分離する。

3. 分注

- 3-1. 保存している血漿をバイオバンクに移送（on ice）。
- 3-2. 検体番号ラベルを貼ったチューブに（300 μ L /tube）分注。

4. 保管

- 4-1. チューブはフリーズボックスに並べ、超低温（-80℃）フリーザーで保管。
- 4-2. 検体管理システムに検体情報を入力。

- 採取～超低温（-80℃）フリーザーでの保管は24時間以内に行う。
- 作業環境温度：室温（12℃～28℃）で実施

詳細手順につきましては、下記までお問い合わせください。
バイオバンク代表：biobank@ncgg.go.jp